(2015年10月31日現在の内容) 住友化学の農業支援サイト:i-農力　http://www.i-nouryoku.com/

〔ペルメトリン乳剤〕

アディオン® 乳剤

農林水産省登録　第１５９５７号
性　　状：淡黄色澄明可乳化油状液体
毒　　性：普通物
危 険 物：第４類第２石油類　Ⅲ
有効年限：５　年
包　　装：100 mℓ × 60 本、500 mℓ × 20 本

有効成分：ペルメトリン(PRTR・１種)……20.0%
補助成分：キシレン(PRTR・１種)………37%以下　エチルベンゼン(PRTR・１種)……………37%以下

こちらのバーコードをスマートフォン等で読み取るとｉ－農力サイトに掲載されている本剤の新しい情報がご覧になれます。また、詳しい読み取り方・最新情報については 11 頁をご覧ください。

〔適用と使用法〕

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10 アール当り使用液量	使用時期*	総使用回数*	使用方法
なし	アブラムシ類 シンクイムシ類	2000～3000 倍	200～700 ℓ	前日	2回	散布
なし	ハマキムシ類 カメムシ類	2000 倍	200～700 ℓ	前日	2回	散布
もも	カメムシ類	2000 倍	200～700 ℓ	7日前	6回	散布
もも	シンクイムシ類 アブラムシ類	2000～3000 倍	200～700 ℓ	7日前	6回	散布
もも	ハマキムシ類	3000 倍	200～700 ℓ	7日前	6回	散布
もも	モモハモグリガ	2000～4000 倍	200～700 ℓ	7日前	6回	散布
ネクタリン	カメムシ類	2000 倍	200～700 ℓ	7日前	3回	散布
ネクタリン	シンクイムシ類・アブラムシ類	2000～3000 倍	200～700 ℓ	7日前	3回	散布
ネクタリン	モモハモグリガ	2000～4000 倍	200～700 ℓ	7日前	3回	散布
かき	カキクダアザミウマ	2000 倍	200～700 ℓ	7日前	5回	散布
かき	カキノヘタムシガ チャノキイロアザミウマ カメムシ類	2000～3000 倍	200～700 ℓ	7日前	5回	散布
キウイフルーツ	キイロマイコガ	2000～3000 倍	200～700 ℓ	7日前	5回	散布
キウイフルーツ	カメムシ類	2000 倍	200～700 ℓ	7日前	5回	散布
くり	クリタマバチ	1000～2000 倍	200～700 ℓ	羽化脱出期 但し､14 日前	5回	散布
くり	クリシギゾウムシ	2000 倍	200～700 ℓ	14 日前	5回	散布
かんきつ	ミカンハモグリガ アブラムシ類	2000～4000 倍	200～700 ℓ	14 日前	6回	散布
かんきつ	チャノキイロアザミウマ	2000～3000 倍	200～700 ℓ	14 日前	6回	散布
かんきつ	カメムシ類	2000 倍	200～700 ℓ	14 日前	6回	散布
いちじく	アザミウマ類・アブラムシ類	2000 倍	200～700 ℓ	前日	2回	散布
いちじく	イチジクヒトリモドキ	3000 倍	200～700 ℓ	前日	2回	散布
アロニア	シンクイムシ類	3000 倍	200～700 ℓ	14 日前	2回	散布
はまなす（果実）	シンクイムシ類	2000 倍	200～700 ℓ	7日前	2回	散布
きゅうり	オンシツコナジラミ アブラムシ類・ウリハムシ	2000～3000 倍	100～300 ℓ	前日	3回	散布
ズッキーニ	アブラムシ類・フキノメイガ	2000～3000 倍	100～300 ℓ	7日前	3回	散布
にがうり	アブラムシ類・カメムシ類 タバコカスミカメ・ヨトウムシ類 フキノメイガ	2000～3000 倍	100～300 ℓ	前日	3回	散布
すいか メロン かぼちゃ	アブラムシ類	2000～3000 倍	100～300 ℓ	前日	5回	散布
いちご	アブラムシ類	3000 倍	100～300 ℓ	前日	5回	散布

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り使用液量	使用時期*	総使用回数*	使用方法
ごぼう	アブラムシ類	3000倍	100～300ℓ	7日前	5回	散布
だいず	マメシンクイガ ジャガイモヒゲナガアブラムシ				3回	
		24倍	0.8ℓ			※
うめ	アブラムシ類	3000倍	200～700ℓ	前日	2回	散布
ピーマン		2000～3000倍	100～300ℓ		5回	
	タバコガ・カメムシ類	2000倍				
とうがらし類	アブラムシ類	2000～3000倍		7日前	2回	
	タバコガ	2000倍				
キャベツ	アオムシ コナガ アブラムシ類 ヨトウムシ タマナギンウワバ			3日前	5回	
はくさい	アオムシ コナガ アブラムシ類 ヨトウムシ			7日前		
だいこん	アオムシ コナガ ヨトウムシ ハイマダラノメイガ			30日前	4回	
	アブラムシ類	2000～3000倍				
茎ブロッコリー	アオムシ	2000倍		7日前	3回	
ブロッコリー カリフラワー	コナガ			3日前	5回	
	アブラムシ類	2000～3000倍				
レタス	アブラムシ類 ヨトウムシ			7日前		
リーフレタス	アブラムシ類 ヨトウムシ			14日前	2回	
トレビス	アブラムシ類	3000倍		7日前	3回	
たまねぎ	アザミウマ類・ネギコガ ハスモンヨトウ				5回	
ねぎ	アザミウマ類・ネギコガ				3回	
	シロイチモジヨトウ	2000倍				
にんにく	アブラムシ類			前日	2回	
ハスカップ	ハマキムシ類 アブラムシ類	2000～3000倍	200～700ℓ	3日前		
アスパラガス	ジュウシホシクビナガハムシ		100～300ℓ	前日	3回	
	ヨトウムシ・アブラムシ類	2000倍				
	カメムシ類	3000倍				
豆類 （未成熟、ただし、さやえんどう、未成熟そらまめを除く）	アザミウマ類・アブラムシ類 ハモグリバエ類・ヨトウムシ類 ウラナミシジミ・アズキノメイガ マメシンクイガ			14日前		
未成熟そらまめ				7日前		
さやえんどう	ヨトウムシ類・ナモグリバエ ウラナミシジミ			前日		
ほうれんそう	アブラムシ類・ハクサイダニ			21日前	2回	
しそ	ハスモンヨトウ・アザミウマ類 アブラムシ類・コナジラミ類	4000倍		5日前		

表中の※は無人ヘリコプターによる散布

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り使用液量	使用時期*	総使用回数*	使用方法
ミニトマト	オンシツコナジラミ アブラムシ類	3000倍	100～300ℓ	前日	1回	散布
トマト	オンシツコナジラミ アブラムシ類	2000～3000倍	100～300ℓ	前日	3回	散布
なす	アブラムシ類	2000～3000倍	100～300ℓ	前日	3回	散布
なす	オンシツコナジラミ テントウムシダマシ類 カメムシ類	2000倍	100～300ℓ	前日	3回	散布
なばな	コナガ	2000倍	100～300ℓ	14日前	3回	散布
ばれいしょ	アブラムシ類 テントウムシダマシ類	2000～3000倍	100～300ℓ	14日前	4回	散布
とうもろこし	アワノメイガ	2000倍	100～300ℓ	14日前	4回	散布
とうもろこし	アブラムシ類	3000倍	100～300ℓ	14日前	4回	散布
あずき	アズキノメイガ	2000倍	100～300ℓ	7日前	3回	散布
あずき	アブラムシ類	3000倍	100～300ℓ	7日前	3回	散布
やまのいも	アブラムシ類・ヤマノイモコガ アザミウマ類	2000～3000倍	100～300ℓ	7日前	5回	散布
てんさい	ヨトウムシ	2000倍	100～300ℓ	21日前	5回	散布
さといも	ハスモンヨトウ	2000倍	100～300ℓ	7日前	5回	散布
さといも	アブラムシ類	3000倍	100～300ℓ	7日前	5回	散布
かんしょ	イモコガ	3000倍	100～300ℓ	7日前	5回	散布
茶	チャノコカクモンハマキ	2000倍	200～400ℓ	摘採14日前	1回	散布
茶	チャノミドリヒメヨコバイ チャノホソガ チャノキイロアザミウマ	2000～3000倍	200～400ℓ	摘採14日前	1回	散布
そらまめ	アブラムシ類	3000倍	100～300ℓ	7日前	3回	散布
オクラ	ハスモンヨトウ・カメムシ類 アブラムシ類	2000倍	100～300ℓ	前日	3回	散布
しろな	アオムシ	2000～4000倍	100～300ℓ	7日前	2回	散布
みずな	アブラムシ類・ダイコンハムシ ヤサイゾウムシ	3000倍	100～300ℓ	14日前	1回	散布
つるむらさき	ヨトウムシ	2000倍	100～300ℓ	7日前	2回	散布
さるなし	キイロマイコガ	2000倍	200～700ℓ	7日前	2回	散布
食用ゆり	アブラムシ類	3000倍	100～300ℓ	前日	5回	散布
葉ごぼう	アブラムシ類	3000倍	100～300ℓ	14日前	2回	散布
食用亜麻	ヨトウガ	2000倍	100～300ℓ	14日前	2回	散布
ごま	アブラムシ類	2000倍	100～300ℓ	3日前	3回	散布
しゅんぎく	アブラムシ類 ハクサイダニ	4000倍	100～300ℓ	21日前	2回	散布
さといも（葉柄）	ハスモンヨトウ	2000倍	100～300ℓ	7日前	2回	散布
さといも（葉柄）	アブラムシ類	3000倍	100～300ℓ	7日前	2回	散布
はぼたん	アオムシ	2000倍	100～300ℓ	発生初期	6回	散布
はぼたん	アブラムシ類	2000～4000倍	100～300ℓ	発生初期	6回	散布
はぼたん 花き類・観葉植物（はぼたんを除く）	カメムシ類 ハマキムシ類 ヨトウムシ類	2000倍	100～300ℓ	発生初期	6回	散布
花き類・観葉植物（はぼたんを除く）	アブラムシ類	2000～4000倍	100～300ℓ	発生初期	6回	散布
樹木類（くちなしを除く）	ケムシ類 アブラムシ類 シャクトリムシ類	4000～8000倍	200～700ℓ	発生初期	6回	散布
くちなし	ケムシ類 アブラムシ類 シャクトリムシ類	4000～8000倍	200～700ℓ	発生初期	6回	散布
くちなし	アザミウマ類	2000倍	200～700ℓ	発生初期	6回	散布

⚠効果・薬害等の注意

●本剤のかんきつ、茶での散布は、場合によりハダニ類が増えることがあるので注意する。
●ねぎのシロイチモジヨトウの防除に使用する場合は、食入前の若令幼虫期に散布する。
●本剤を無人ヘリコプターによる散布に使用する場合は次の注意を守る。
　○散布は各散布機種の散布基準に従って実施する。
　○無人ヘリコプターによる散布にあっては散布機種に適合した散布装置を使用する。
　○散布中薬液の漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行う。
　○特定の農薬（混用可能が確認されているもの）を除いて原則として他の農薬との混用は行わない。
　○作業終了後は次の項目を守る。
　　・使用後の空の容器は放置せず、適切に処理する。
　　・使用残りの薬液は必ず安全な場所に責任者をきめて保管する。
　　・機体散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。
●適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。
なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

⚠安全使用上の注意

●蚕に長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、付近の桑に付着するおそれのある場所では使用しない。
●ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意する。
　○ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しない。
　○受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさける。
　○養蜂が行われている地区では都道府県の畜産部局と連絡し、ミツバチの危害防止に努める。
●誤飲などのないよう注意する。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせる。
本剤使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当を受ける。
●本剤による中毒の治療法としては動物実験でメトカルバモール製剤の投与が有効であると報告されている。
●原液は眼に対して刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないように注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
●原液は皮ふに対して刺激性があるので、皮ふに付着しないよう注意する。
付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
●散布の際は、農薬用マスク、手袋などを着用する。また、散布液を吸い込んだり、浴びたりしないよう注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。
●水産動植物（魚類）に強い影響を及ぼす恐れがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないように注意して使用する。養殖池周辺での使用は避ける。
●水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
●無人ヘリコプターによる散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意する。
●街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後（少なくとも使用当日）に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。
12 頁記載の注意事項、(1)、(2)、(3)、(4)－G も合わせてお読み下さい。

〔品目特性〕

●合成ピレスロイド系殺虫剤です。
●50 作物以上に登録を有しています。